

遺贈寄付に関する協定を締結

7月30日(木)、町と大垣共立銀行との間で「養老町への遺言を活用した遺贈寄付に関する協定」が締結されました。この協定は、町で遺贈寄付に関する相談があった場合などに、同行が実施している支援制度を紹介し、スムーズな支援に繋げることを目的に締結されました。

協定締結にあたり、同行の森田常務は「個人では遺言書の作成や執行が難しいため、住民の皆さまへ円滑なサポートを提供したい」と語っていました。



協定書を取り交わす森田常務(左)と大橋町長

立川勇次郎氏顕彰祭



顕彰碑前で行われた神事の様子

8月16日(日)、養老鉄道の創設者である立川勇次郎氏の顕彰祭が養老駅の顕彰碑前で執り行われ、ご遺族や地元の関係者ら約20人が参列しました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年よりも規模を縮小しての開催となりました。

顕彰祭では、神事を執り行い、養老鉄道の安全と存続を祈願した後、立川勇次郎氏のひ孫にあたる立川元彦さんが「今年は顕彰会の開催が難しいと思っていたが、地元の方々の協力で開催することができ、大変ありがたく感じています」とあいさつされました。

防火の意識を大切に

8月19日(水)、内閣総理大臣から安全功労者として表彰された町女性防火クラブ連絡協議会会長の
大橋園子さんが大橋町長に受賞を報告しました。

大橋さんは昭和45年に婦人消防隊に入隊し、地域の火災予防などを長年にわたり率先して努め、町の安心・安全のために活動をされています。今回の受賞を受けて、大橋さんは「皆さんのおかげでこのような賞を受賞することができました。多くの人に理解していただけてありがたいです」と語られました。



大橋町長に受賞を報告した大橋会長(右)